

新年のご挨拶



小さな一歩が未来につながる 大きな前進

佐渡市長 甲斐元也

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様にはお健やかに新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

去年は、地震や大雨、火山噴火など異常気象の年であり、日本各地で大きな被害が発生しました。幸い、佐渡は大きな災害もなく安堵しておりますが、異常気象はいつどこで発生するかわかりません。

市では、自主防災組織や関係機関・団体と一体となつて、総合防災訓練等を実施しておりますが、まずは市民ひとり一人が「自分の命は自分で守る」という意識を持つことが大切です。これからも訓練等を通して、日頃から防災意識を高めるようお願いいたします。

さて、本年から「地方創生」の時代に入ります。これは、他の市町村の真似をするのではなく、佐渡に住んでいる人達が力をあわせて、佐渡の自然や文化・歴史・風土・経済等を最大限に活かし、「佐渡に誇り」を持つこと、そしてその上につた「地域資源を活かした産業おこし」が基本になります。

市では、昨年7月に「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その基本目標として、1点目は島の資源を最大限に活かし、人材の確保・育成による産業の活性化、2点目は観光推進体制の整備による島の魅力発信とおもてなしの推進、3点目は若者の出会いか

ら就業までの一貫性のある応援態勢の促進、4点目はそれぞれの地域の元気づくりと医療・福祉や防災体制を整備することです。

これらは特に新しいことではなく、今までの施策の継続であります。その個々の実績を線で結び面にしなければなりません。

おかげさまで皆様のご協力により、これら4項目については、全国の自治体・企業との連携も増え、さらに百貨店等から佐渡産品の評価が高まり、確実に生産・出荷量も増加しました。また、企業間の連携も強化され、新分野への挑戦もはじまりましたし、自分達の住んでいる地域・佐渡をなんとかしようとする自治組織も立ち上がり、地域づくりの核が出来はじめました。加えて、新たな担い手や定住を目指す人達も確実に増加しています。

これらは、まだ小さな動きかもしれませんが、しかし、少しずつ大きくすることが、佐渡の素晴らしい未来への出発点になります。佐渡金銀山の世界遺産登録にも全力で取り組みますので、市民の皆様、一緒になつて頑張ろうではありませんか。結びに、本年が市民の皆様にとりまして実り多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。